



担い手の負担軽減による構造改革の後押し

平地農業地域

【地区概要】

- ・取組面積 93ha(田 89ha、畑 4ha)
- ・資源量
開水路 39.3km、農道 23.4km、
ため池 5箇所
- ・主な構成員
農業者、自治会、JA、水利組合、
草刈支援隊、PTA等
- ・交付金 約8百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

こいずみみどりかい

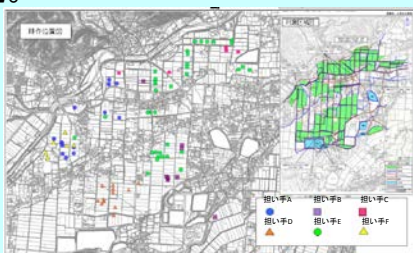
うえだし

小泉水土里会 (長野県上田市)

- 本地域は、約3割の農地が担い手に集積されているが、農地周りの管理が困難となり、雑草が繁茂し、病害虫の発生や農作業の安全性の確保にも支障。また、地区に点在する担い手の借入農地を、面的に集約を図ることが課題となっていた。
- 本制度により、活動組織と担い手との検討会を実施。その結果、「草刈支援隊」を結成し、担い手の農地周りの草刈り等を支援することになった。
- これにより、担い手の維持管理に係る負担が軽減され、米の品質管理等の時間を充実。また、担い手に集積した農地の面的な集約化を進めるための地域の受入れ体制を整備。

活動開始前の状況や課題

- 地域の約3割(約30ha)の農地は、6名の担い手(うち4名は他集落からの入り作者)等に集積。
- 一方、担い手は農地周りの管理が困難となり、雑草が繁茂して景観を損ない、病害虫の発生や農作業の安全性の確保にも支障。
- 農業者の減少、高齢化等により、ため池や水路等の維持管理が粗放化。
- 担い手の作業の効率化や規模拡大を図る上で、地区に点在する担い手の借入農地を面的に集約することが課題。



担い手による耕作地の位置図

取組内容

- 担い手の負担軽減のため、「草刈支援隊」を結成。水路・農道等の草刈り・泥上げ等の共同活動は、地区外の担い手を除く構成員で年3回実施。



草刈支援隊による、担い手の農地周りの草刈

- 活動組織と担い手との検討会を実施し、その結果、生産性の向上や地域農業の持続的な発展のため、担い手の経営規模拡大に協力することで合意。



活動組織と担い手との検討会

取組の効果

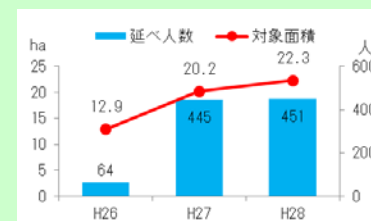
- 管理の行き届いた農地が増え、病害虫の発生防止や農作業の安全性を確保。



管理の行き届いた農地

- 担い手の維持管理に係る負担が軽減。その結果、米の品質管理等の時間を充実。

〔 維持管理費(草刈り)の節減
33時間/ha/年、4.5万円/ha/年の節減 〕



草刈支援隊の活動実績

- 今後増加が見込まれる担い手への農地集積に対し、面的な集約化を進めるための地域の受入れ体制を整備。